

要求水準 1

施設及び設備の維持管理を適切に行い、安全かつ快適な利用環境を提供する

<p><b>評価項目</b></p> <p>(1) 施設及び設備の保守点検等を適切に行うとともに、安全管理を適切に行い、故障や事故のない運営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点検、修繕の実績</li> <li>・業務委託の状況</li> </ul> <p>(2) 災害発生時における利用者の避難その他の応急対策、及び津波避難ビルとして一時的に避難者を受け入れることについてあらかじめ検討し、必要な対策を講じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策</li> <li>・マニュアルの作成</li> <li>・職員研修</li> </ul>
--

状 況 説 明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設および設備の保守点検等は、法定点検回数を遵守し適切に行った。</li> <li>・利用者の怪我等発生しないように適宜館内を巡回し管理した。</li> <li>・多目的室の椅子の座面下に取り付けられているバーの折損が相次いだ。安全面を配慮し、バーのない構造の椅子を購入し第 11 多目的室の椅子 33 脚を取り替えた。</li> <li>・年 2 回の避難誘導訓練を行い、消防計画に沿った避難誘導をした後、訓練後の反省点、改善点などを全員に周知および理解を図った。</li> <li>・地震時の津波避難ビルに加えて、風水害時の一時避難所ともなっているので、台風接近時や暴風雨警報時の連絡態勢を全スタッフで再確認し、高知市地域防災推進課とも有事の際の行動確認を行った。</li> </ul>

評価	理 由
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な施設及び設備の維持管理を行い、安全かつ快適な利用環境の提供に努めていることが認められる。</li> </ul>

## 要求水準 2

利用者の満足度を高める運営により、施設利用の促進を図る

### 評価項目

- (1) 文化団体等が自ら行う音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、演芸その他の芸術及び芸能の公演・発表や練習の場として、またその他の文化活動の日常の活動拠点として利用しやすい運営を行い、県民の芸術文化活動の拠点施設としての利用を促進する。
- (2) 民間興行による公演、各種団体の会議その他の催し物の用に供する施設として、主催者が希望する施設の利用形態に応じて、利用しやすい環境とサービスを提供することにより、施設利用率の向上に努める。
- (3) 利用者のニーズや評価等に関する調査・分析を行い、その結果を生かして、施設の機能強化やサービス改善に努める。

### 状況説明

- ・外国人の来客に備え、携帯型翻訳機を購入した。
- ・予約受付システムの見積書、請求書等の帳票類のレイアウトに適宜改良を加え、利用料金の納入状況・残金など利用者が一目で確認できるようにした。
- ・地下駐車場をスムーズに駐車してもらえよう、事務室で駐車位置の案内を積極的に行った。
- ・施設の貸出業務では、主催者側の各種要望に対して、受け入れ不可能な要望についても、代案を提案するなど、臨機応変で不快感を与えない接客を心掛けた。
- ・29年9月から開始したWebによる利用者アンケートは、SNSが普及した昨今、利用者の声を聞くのに有効な手段だと思われるので継続していく。
- ・来場者に対しアンケート調査を行い、公演情報収集先、来場手段、料金設定、来場動機、スタッフ態度、公演希望ジャンルなどを調査分析した。今後もこのデータをもとに、公演内容に合わせたターゲットにしぼることで、より効果的な告知展開が可能となり、「公演見逃し」を減らしていきたい。

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"><li>・県民の文化芸術の拠点施設として、利用者の立場に立ち、快適な環境とサービスを努めるとともに、利用促進のための情報発信等を行うなど利用向上に努めていることが認められる。</li><li>・来場者、来館者に分けてアンケートを行い、結果を更なるサービス改善などに生かすことに努めていることが認められる。</li></ul>

### 要求水準 3

質の高い芸術文化公演の企画・実施により、県民に優れた芸術鑑賞の機会を提供する

#### 評価項目

- (1) 地域の芸術文化の広域拠点施設として、大ホール及び小ホールそれぞれの規模にふさわしい音楽や舞台芸術などの公演を自主的に企画し、実施する。
- (2) 県民の多種多様な鑑賞ニーズに応えるため、幅広いジャンルから上質な作品をバランスよく上演する。

#### 状況説明

高知県の芸術文化の拠点施設として、大小ホールそれぞれの規模・構造に見合った公演を企画し、老若男女・親子連れなど幅広い年代のニーズに応える質の高い芸術鑑賞の機会を提供した。

自主事業の本数は、事業計画書より9本増の38本。入場者数は38本合計で29,932人と事業計画書の目標人数21,100人に対し141.9%となり、前年比10,587人増となった。

#### <自主事業>

- ・ステージショー:「ウルトラマンライブプレシャスステージ」(大ホール:2087人※3回公演)  
「恐竜どうぶつ園 ティラノサウルス×トリケラトプスの戦い?!」  
(大ホール:1961人※2回公演)  
「プレジャーBのコメディ・クラウン・サーカス」(小ホール:975人※2回公演)
- ・映画:「県文シネマ日和 vol.4 ナショナル・シアターライブ フランケンシュタイン」(小ホール:153人)  
「県文シネマ日和 vol.5・6 サマータイムマシンブルース(映画版&舞台版)」(小ホール:214人)  
「県文シネマ日和 vol.7 フジコ・ヘミングの時間」(小ホール:1209人)  
「県文シネマ日和 vol.8 ブルーハーツが聴こえる」(小ホール:338人)  
「県文シネマ日和 vol.9 おかあさんといっしょ はじめての大冒険」(大ホール:1121人)  
「第64回県民が選ぶ映画ベストテン上映会」(小ホール・東洋町:583人)
- ・歌謡ショー:「北海道歌旅座 昭和のうたコンサート」(窪川四万十開館:125人)  
「東京大衆歌謡楽団」(大ホール:959人)  
「Little Gree Monster Live Tour 2018 calling !!!!!」(大ホール:1427人)
- ・俳句イベント:「夏井いつき句会ライブ」(大ホール:964人)
- ・器楽:「フジコ・ヘミング&ハイドン・カルテット」(大ホール:1498人)  
「第42回高知県新人演奏会」(小ホール)(320人)  
「反田恭平 ピアノリサイタル」(小ホール:472人)  
「澤クワルテット」(小ホール:457人)  
「奥田弦 ジャズワールド2 in 高知」(小ホール)(299人)  
「音の輪コンサート vol.1」(小ホール:298人)  
「山内豊瑞 フルトリサイタル」(小ホール:300人)
- ・オーケストラ:「ミハイル・プレトニョフ指揮 ロシア・ナショナル管弦楽団&ピアノ牛田智大」  
(大ホール:730人)  
「広上淳一指揮&京都市交響楽団 音楽維新の旅」(大ホール:666人)  
「オーケストラによるドリームコンサート~ジブリの思い出がいっぱい~」  
(大ホール)(1139人)  
「佐渡裕指揮 日本センチュリー交響楽団 with ピアノ反田恭平」(大ホール:1498人)
- ・演芸:「山里亮太の140」(小ホール:996人※2回公演)
- ・親子参加型コンサート:「親子で楽しむ Kids meet jazz!」(小ホール:333人)
- ・バレエ:「キエフ・クラシック・バレエ:「眠りの森の美女 全幕」(大ホール:731人)
- ・演劇:「劇団ハイバイ て」(大ホール:257人 ※舞台上舞台)  
「ヨーロッパ企画 20周年ツアー サマータイムマシン・ワンスモア」(小ホール:442人)
- ・声楽:「山田姉妹」(小ホール:306人)
- ・能狂言:「尾上菊之丞・茂山逸平二人会逸青会十周年記念特別公演」(小ホール:350人)

- ・軽音楽:「大野雄二&ルパンティックシックス」(大ホール:941人)  
「LET IT BE -PART II-」(大ホール:763人)  
「米米 CLUB a K2C ENTERTAINMENT TOUR 2019 ~おかわり~」(大ホール:1450人)
- ・公開録画:「平成30年度全国放送公開番組『みんなDEどーもくん!』」(大ホール)(1400人)
- ・歌舞伎「日本伝統芸能振興会 歌舞伎普及公演」(大ホール:1208人)
- ・落語:「立川志らく独演会」(須崎市立市民文化会館:962人)

評価	理由
A	幅広い年代のニーズに応え、大小ホールそれぞれの規模にふさわしい質の高い芸術文化公演が企画・実施され、県民に優れた芸術の鑑賞機会を数多く提供したと認められる。

要求水準 4

地域の創造力の向上に向けて、芸術文化を担う人材を育成する

評価項目

- (1) 自主企画により上演される作品等をテーマや素材にして、芸術文化への関心を高め、理解を深めていく事業を行い、芸術文化振興の担い手となる観客を育成するよう努める。
- (2) 学校その他の教育機関で、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、演芸その他の芸術及び芸能の実演又は舞台設備、舞台音響、舞台照明等の効果的な運用操作などの舞台芸術に関する活動を行っている児童生徒を対象に、講習会の開催や発表機会の提供等を行い、次代の芸術文化を担う人材を育成するよう努める。
- (3) 指定管理者の自主事業として運営されているジュニアオーケストラの活動を継続し、芸術文化を通して青少年の健全育成を図るとともに、育成のための支援体制を充実させることにより、オーケストラとしてのレベルアップに努める。

状況説明

- ・自主企画入場者数は 29,932 人と事業計画書の目標人数 21,100 人に対し 141.9%となり、前年比 10,587 人増となった。
- ・「親子で楽しむ「Kids meet jazz！」のヴォーカル・アヤ氏が講師を務めた幼児向けワークショップ「はじめての ABC!」では英語、音楽を楽しみ保護者の関心度も高かった。
- ・「日本伝統芸能協会 歌舞伎普及公演」では 1 部で歌舞伎の所作を学ぶワークショップ、2 部では松羽目物の「棒しばり」を披露し、歌舞伎は初めてという人にも、その魅力を存分に伝える機会となった。
- ・山内家の末裔でフルーティストの山内豊瑞が母校・附属小学校を訪れ、全校生徒の前で演奏を披露した。また、土佐山内記念財団との連携で高知城歴史博物館のロビーでも凱旋公演を実施した。
- ・高知城歴史博物館で京都・大蔵流狂言師・茂山逸平のワークショップを実施した。参加した高校演劇部員は狂言の歴史や所作の学びを通じて、古典芸能から現代演劇に至る流れをつかんだ。
- ・高知市春野文化ホールで行った「梶原徹也のリズム遊びワークショップ 手作り打楽器をつくろう！」は日本ダウン症協会高知支部、NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・高知と連携して実施。健常者だけでなく障がいを持つ人、また県内のサンバグループ「花山海」も参加した。
- ・窪川四万十会館及び田野町ふれあいホールで高知コンサートグループと連携した無料クラシック公演を開催した。
- ・高知県高等学校演劇部夏季舞台技術講習を今年度も開催した。
  - \*プロの劇団員による演劇表現と県民文化ホール技術職員による舞台技術の講義
  - \*参加者全員で、合同公演「くじらホテルはほぼ満室」を実施
- ・ジュニアオーケストラでチェロ入門者を募集したところ 3 人が入団。1/8、1/4 チェロを追加購入した。
- ・8 月の全国アマチュアオーケストラフェスティバル高知大会で、高知香南ジュニアオーケストラと合同で歓迎演奏を実施し、来場されていた高円宮妃殿下久子様からお褒めの言葉をいただいた。
- ・10 月にはジュニアオーケストラと東京芸術大学学長でバイオリニストの澤和樹氏率いる澤クワルテットが共演。公演前後には澤和樹、大関博明、林俊昭氏に直接指導いただき、貴重な体験となった。

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業企画において、来場者が昨年度 19,345 人から 29,932 人に増え、創作意欲やプロの演奏を聴く機会等を提供し、芸術文化振興の担い手となる観客の育成に努めたと認められる。</li> <li>・伝統芸能に関するワークショップを開催し、伝統芸能への関心を深め、芸術文化振興の担い手を育成したと認められる。</li> <li>・高等学校演劇夏季舞台技術講習等により、次代の芸術文化を担う人材の育成に努めたと認められる。</li> <li>・ジュニアオーケストラの体制強化に努めるとともに、プロと一緒にステージに立つ等、青少年の健全育成とレベルアップに努めたことが認められる。</li> </ul>

要求水準 5

関係機関等との連携・協力により、芸術文化の振興を図る

評価項目

- (1) 芸術文化団体が企画する県民参加型の事業や、鑑賞団体が企画する一般の観客を対象とした公演を共催で実施するなど、県民の自主的な芸術文化の振興活動と連携・協力することにより、県民の芸術文化活動への参加の促進や、県民が優れた公演等を鑑賞する機会の拡大に努める。
- (2) 学校その他の教育機関及び芸術文化教育の推進を目的とする団体等との連携・協力により、児童生徒に対して質の高い芸術文化に触れる機会を提供する。
- (3) 県内の他のホールの職員等を対象に、ホールの企画運営や舞台技術に関する実践的な知識及び技術を習得するための研修の機会や、共同開催の公演を実施することによる企画運営ノウハウの移転の機会を設けることによって、地域のホール運営の専門性向上に努める。

状況説明

- ・劇団四季「ソング＆ダンス 65」を共催で開催予定だったが、台風接近のためやむなく中止となった。
  - ・「ディズニー・オン・クラシック 魔法の夜の音楽会 2018」を共催で実施。本格的なクラシック音楽とディズニーの融合は子どもたちに音楽への関心を喚起する機会になった。
  - ・県内高校吹奏楽部や大学から選抜された部員が合宿形式で練習を積んで定期演奏会を行う「スーパーハイスクールブラス演奏会」は30年度も共催し、若い世代の芸術文化活動への参加を促進した。
- <共催事業>
- ・軽音楽:「きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル ソドー島のたからもの」  
(大ホール:2950人※2回公演)
  - ・怪談:「稲川淳二の怪談ナイト」(小ホール:470人)
  - ・歌舞伎:「市川海老蔵特別公演 源氏物語 第二章」(大ホール:3000人※2回公演)
  - ・演劇:「劇団四季 ソング＆ダンス 65」(大ホール ※台風接近により中止)
  - ・声楽:「ドレスデン聖十字架教会合唱団 クリスマス・コンサート」(大ホール:1000人)
  - ・落語:「三遊亭小遊三・春風亭昇太 ～X'mas Eve の爆笑二人会～」(大ホール:1400人)
  - ・吹奏楽:「ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2018」(大ホール:1100人)  
「第14回スーパーハイスクールブラス」(大ホール:700人)
- ・本年度から新たにピアノ、パーカッション、バイオリン、歌の4人編成のユニットで幼稚園・保育園を巡回する事業「こうちこども音楽プロジェクト(略称:KCMP)」を上期、下期に各4園、通期で8園実施した。
  - ・オレンジホールで行われた公演を見学するバックステージツアーを窪川四万十会館の職員を対象に行い、仕込みからバラシまで一連の流れを学んだほか、窪川四万十会館に出向き舞台技術研修会を実施し、多くのスタッフが舞台運営についてのノウハウを学んだ。
  - ・「県民が選ぶ映画ベストテン」上映会は、土佐清水市、大月町、東洋町とグリーンホールの計4カ所で開催し、集客や当日運営の実践を積んだ。
  - ・窪川四万十会館で北海道歌旅座「昭和のうたコンサート」、須崎市立市民文化会館で「立川志らく独演会」を共催し、他館との連携を深めた。

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共催事業は昨年度から1本増の8本(中止含む)で、入場者は1,520人増え10,520人となり、県民が質の高い公演等を鑑賞する機会を提供し、県民の文化活動への参加を促進したことが認められる。</li> <li>・県内の若手音楽家たちによるKCMPの活動を支援し、児童生徒に対して質の高い芸術文化に触れる機会を提供し、また、芸術文化活動への参加を促進したことが認められる。</li> <li>・他館からの要望に応え、バックステージツアー等の研修を開催し、また、事業を連携して実施することで、地域のホール運営の専門性向上に努めたことが認められる。</li> </ul>

その他

評価項目

(1) 社会的責任

- ・法令等の遵守
- ・個人情報
- ・情報公開の状況

状況説明

- ・条例や内規等に基づいて運営管理業務を行い、「同じ事例には同じ対応」を心掛けた。
- ・運営管理を始めて4年がたち、平等でぶれることの無い判断基準が確立できた。
- ・個人情報保護に関しては、平成26年4月1日から、利用者の個人情報を扱う受付管理システムをインターネット環境から遮断しているほか、来館されるお客様の事務所内入場可能区域も受付カウンターまでとし、事務所が開いている間は必ずスタッフが常駐し、書類、データ等を守っている。
- ・事業部門のパソコンはネット環境にあるが、ウィルス感染対策として本社から管理されたUSBメモリー以外は接続できない設定としている。

評価	理由
B	適切な管理運営がされたと認められる。

評価項目

(2) 利用実績

利用実績の状況:利用状況の分析

状況説明

区分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	前年度比
オレンジホール (大ホール)	開館日数	341日	314日	340日	339日	341日	2 H27は吊物更新工事に伴う閉館があった
	利用日数	226日	225日	246日	228日	239日	11
	利用率	66.3%	71.7%	72.4%	67.3%	70.1%	2.8
	利用件数	166件	165件	193件	174件	186件	12
	入場者数	191,320人	182,090人	206,250人	189,217人	189,545人	328
グリーンホール (小ホール)	開館日数	342日	325日	334日	342日	341日	1 H27は吊物更新工事に伴う閉館があった
	利用日数	228日	235日	245日	248日	254日	6
	利用率	66.7%	72.3%	73.4%	72.5%	74.5%	2
	利用件数	206件	208件	203件	215件	218件	3
	入場者数	49,393人	48,440人	54,740人	54,505人	52,665人	△1,840
多目的室	延べ開館日数	3,949日	3,960日	3,949日	3,949日	3,949日	
	延べ利用日数	1,951日	2,278日	2,443日	2,502日	2,636日	134
	延べ利用率	49.4%	57.5%	61.9%	63.4%	66.8%	3.4
	利用人数	71,533人	81,778人	85,162人	95,952人	95,138人	△814

評価	理由
A	グリーンホールと多目的室の利用人数は減少したが、利用日数は全体的に増えている。特に多目的室に関しては、テレビCMでの告知やリピーターの定着といった利用促進の取り組みの成果により順調に利用日数が増え、適正な管理運営がされたと認められる。



評価項目

(3) 収支の状況

経営努力:収入増加の取り組み・経費削減の取り組み

状況説明

- ・収入の合計は1億7千万円を超え、前年比120%となり、自主財源率も61.6%と初めて60%台に乗り過去5年間で最高の数字となった。
- ・自主事業追加開催等で鑑賞事業の入場料収入が約6,913万円となり、前年に比べ約2,765万円の増収収入となった。
- ・予算を上回った収入を原資に、新たな主催事業を実施。

評価	理由
A	多目的室の活用促進等の経営努力を行い、予算を上回った収入を原資に新たな自主事業を実施するなど、適正な管理運営がされたと認められる。

総合評価

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none"><li>・県民の芸術文化活動の拠点施設として、利用者の立場に立ったサービスの提供に努め、その利用を促進した。</li><li>・幅広いジャンルの自主事業を行い、自主事業の入場者数は目標に対し約142%、前年度比では155%の実績であった。</li><li>・児童生徒に対してワークショップを行い、質の高い芸術文化に触れる機会を提供した。</li><li>・利用促進の取り組みの成果により多目的室等の利用が増加した。</li></ul> 上記により、要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされたと認められる。

評価基準

- 「A」 要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた。
- 「B」 概ね要求水準どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた。
- 「C」 要求水準に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要。
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえ、大いに改善を要する。